



湯田温泉料飲社交組合

ほりもと のりよ
組合長 **堀本 紀代**

山口商工会議所 1号議員
(有)キャッツ・アイグループ 代表取締役

山口市湯田温泉出身。湯田温泉の真ん中で生まれ育ち、20歳の時に(株)湯田観光に就職。29歳の時に(有)キャッツアイを起業し、今年で37年目。湯田温泉料飲社交組合の役員には起業と同時に就任し、2011年に組合長に就任、現在に至る。趣味はゴルフと人間観察。

【企業概要】

湯田温泉料飲社交組合

住 所：山口市湯田温泉 5-2-14
TEL：083-922-8171

(有)キャッツ・アイグループ

住 所：山口市下市町 11-21
TEL：083-922-9615

まず、堀本組合長の生い立ちを教えてください。

私は山口生まれの山口育ち、湯田温泉の真ん中で育ちました。家庭の事情で、祖父母に育ててもらいました。祖母は「これからは女性も自立して生きなければいけない」と口癖のように言っていました。いつも身近に湯田温泉の賑わいを見て育ったので、自然と飲食店に働きたいと思うようになりました。働くからには自分で経営者になりたいと思い、当時のクラブエデン(株)湯田観光)に面接に行き「10年、働かせて下さい」「10年後には自分の店を持ちたい」と伝えて、働かせて戴きました。

(株)湯田観光で約10年働きましたが、その時にマナーやおもてなしの心を教えて戴きました。それが今の私の原点だと思っています。

その頃「クラブ」の全盛期で、湯田温泉にもたくさんのクラブがありましたので、切磋琢磨しながら、皆、頑張っていました。

湯田温泉料飲社交組合について教えてください。

湯田温泉には多くのお店があります。現在、組合加盟店は250店舗ですが、私が開業した当時(S54年)は、500店位はありました。(最近では組合未加入のお店も多くありますが)当組合ではどのお店でも、安心安全に飲食できるよう、衛生面においても3ヶ月に1度各お店を点検にまわっています。又、湯田温泉の街活性化にも積極的に協力しており「湯田温泉白狐まつり」「湯田温泉酒まつり」「飲酒運転根絶 & 湯田温泉街活性化ボウリング大会」等のイベントにも参加しています。

今年は「山口県飲食業同業組合創立50周年」の大会も当組合がお引き受けし、今年は「山口県飲食業同業組合創立50周年」の大会も当組合がお引き

受けして、無事大盛況のうちに開催することができました。

山口市、山口商工会議所、山口観光コンベンション協会とも手を携えて、住み良い街明るい街、そして訪れたい街づくりをしていきたいと思っています。私達は安心安全はもとより、質の良い物を提供する義務があると思っています。私自身は飲食業界に入って46年。組合役員暦35年になります。



山口県飲食業生活衛生同業組合創立50周年記念式典



組合で例年実施している、白狐まつりのもちまき。毎年大盛況です

(有)キャッツ・アイグループについて教えてください。

29歳で起業しました。当初社長に宣言したとおり、10年以内での独立でした。一時は7店舗ほど経営していましたが、現在は2店舗。昔は、クラブといえば「社交の場」で、お店の中で出会う多くの方々が、お互いに交流を深め、情報交換をしておられました。私たちは、その「場」がスムーズに運ぶようにサービスを提供していました。今は「個人で楽しむ場」に変わってきており、お客様が求めているサービスが変化しています。クラブのような形態のお店を求める方より、カウンターで一緒に来た方と個々で楽しむ方が増えたように感じます。

お店の名前が宝石の名前なのは、1つお店を出す度に「店名の宝石が買えるくらい頑張ろう!」と、自分に目標を設けるようにしていたからです。

お店は開店するより撤退する方が大きな勇気が必要で、従業員達のその後のことを考えるなど、悩むこともたくさんあります。景気が悪くなったとき、一番影響を受けやすいのが飲食業界なので、困難な壁にぶつかることも多々ありましたが、それでも37年間、今の仕事を続けてこられたことに感謝しています。

題字の「心に笑を」とは?

私が常に心を抱くようにしている事で、「心の中に常に笑顔を持ち続けていよう」ということです。マナー講座などで「口角をあげなさい」など、良い笑顔の作り方を指導されることもあるでしょうが、これは「作り方」。どんなに口で笑っても、それは笑顔ではないと思います。笑顔は「作る」のではなく、心の中にいつも、「ほほえみ」の気持ちを持っていれば、心からの素晴らしい

笑顔が生まれるものだと思います。気持ちに伴わなければ、どんなに「ありがとう」と言われても、相手には気持ちが伝わりません。

誰しも、どうしてもソリが合わない人や、苦手な人がいるものです。私は、常に「相手の素晴らしいところ」「良いところ」を見つけるように努めています。私はもちろんですが、どんな人も完璧ではないし、合わないところもあるでしょう。ですが、「嫌いだ」と思えば、以心伝心、相手にも伝わってしまいます。私がいつも思っているのは、51:49の割合で、相手を好きだと思えるようにすることです。相手の良い部分が1%でも見つけられれば、どんな人のことも「好き」と感じられま



ボウリング大会

すよ。
これまで46年という長い間、現在の仕事に携わられていますね。

天職だと感じています。先に話したように私は「人」が大好きで、人と出逢う事が大好きです。人を嫌いになりたくないから、いつも心に微笑みをもつように、いつも、51:49の割合で相手を好きになるように努力しています。それでも、まだまだ未熟で自分のふがいなさや、未完成な部分が見えてくると自分自身に苛立つことはあります。

でも、この46年間、素晴らしい友人、素晴らしい先輩方、素晴らしいスタッフに出逢えた事、とても嬉しい事です。(私の宝です)

これからも、諸先輩を目標に頑張っていきたいと思っています。

「山口」に対して、どのような思いを持っていますか?

山口は、通勤族の方も多い街です。他県から来た方が必ず言われるのが

「山口には素晴らしいお宝がたくさんある」と言うこと。私は山口市で生まれ育ち、その素晴らしさは理解しているつもりです。「山口お宝展」の実行委員長も経験させていただき、本当にお宝がたくさんあることを知らされました。

しかし、地元の多くの方々は、その素晴らしさに気づいておられないのではないのでしょうか?

まずは山口市民である私たちが、山口市の素晴らしさを知り、多くの方に伝えられるようにならなければ、山口市の素晴らしさを観光客の方々に伝えることはできません。

観光客の多い週末や連休を避けて、山口市民の方々のために、山口の素晴らしさを知るツアーや講座を開催し、参加していただけるような働きかけができると、多くの方が自分のまちの魅力に気づく機会になるのではないのでしょうか。

これからの山口市に必要なものはなんだと思いますか?

先日、キャリーバッグをひいて歩いている高齢のご婦人2人組を見かけ、お声がけしました。旅行で山口にお見えになり、道など分からず困っておられる様子なので、目的の場所までお連れしました。

小さな事でも良い、「山口は温かく、親切なまちだった」と感じて帰っていただけるよう、私自身も小さな心配りを大切にしたいと思います。

観光などで山口市を訪れる方々に、もっともっと山口市の素晴らしさをお伝えできるよう、ひとりひとりが郷土を愛し、おもてなしの心を持ち続けていけたら良いですね。



交通安全運動も行っている